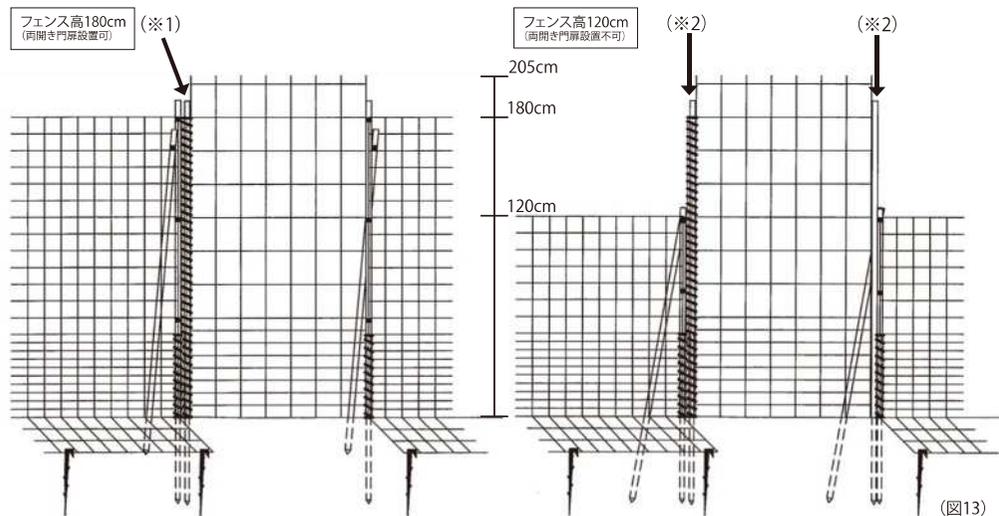


メッシュ扉を設置する場合

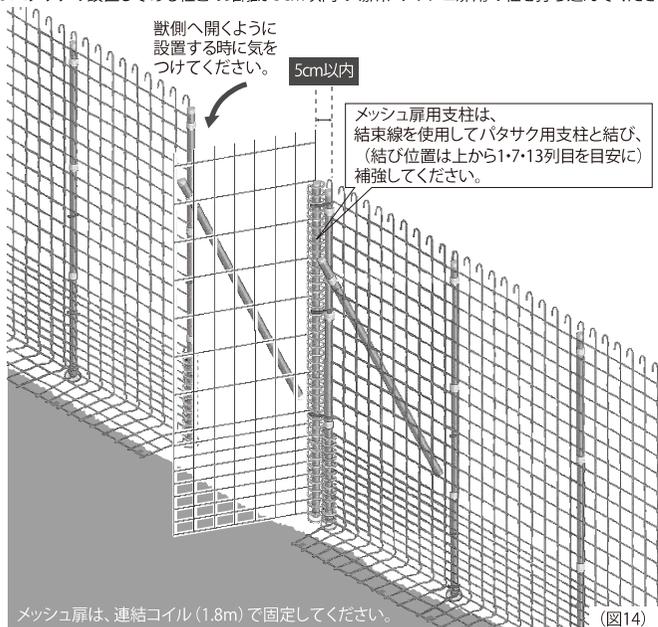
13. <門扉用資材に関する補足事項> (図13)

- ・フェンス高に関わらず門扉高は205cmの共通規格となります。
- ・フェンス高180cmの場合、門扉用の打ち込み支柱・かぶせ支柱・控え支柱は、門扉の片側(※1)に設置してください。
- ・フェンス高120cmの場合、門扉用の打ち込み支柱・かぶせ支柱・控え支柱は、門扉の両側(※2)に設置してください。
- ・門扉用の控え支柱は、門扉用の支柱への設置を推奨します。(図13ではフェンス用支柱に設置されています)
- ・門扉の開閉部は、ワイヤーロックなどで施錠の管理をしてください。
- ・両開き(観音開き)の門扉を設置する場合は、片開きの門扉資材を左右対称になるよう、2基分設置してください。(フェンス高120cmについては、片開き門扉のみの案内となります)



(図13)

14. バタサクの設置してある柱との距離が5cm以内の場所にメッシュ扉用の柱を打ち込んでください。(図14)



(図14)

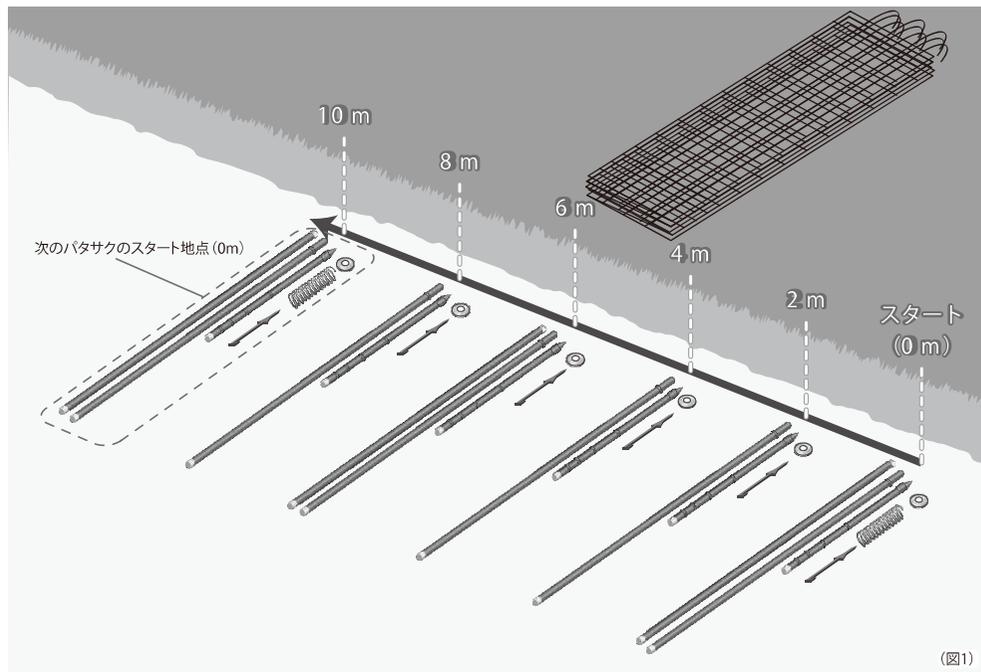
バタサクを施工する際に必要な工具



上記道具を準備してください。
怪我や事故がないよう、十分に気をつけて施工してください。

パタサク(折りたたみ式獣害防止フェンス) 施工手順書

1. バタサク設置予定場所付近に草木がある場合、作業性・設置後の管理等を考慮しあらかじめ伐採してください。(設置予定場所が斜面の場合、獣の侵入を防ぐ為ある程度距離を離してください。)
2. 支柱設置場所を測り、線出し・割り付けをしてください。(図1)

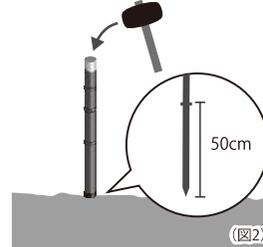


(図1)

【用意するもの】

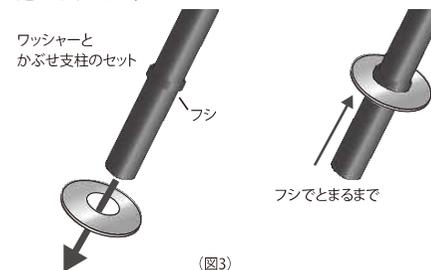
獣側	・バタサク本体				
田畑側	・打ち込み支柱 ・ワッシャー	・かぶせ支柱 ・ワンタッチクリップ	・アンカーピン	・控え支柱 (スタート4m又は6m地点)	・コイル小(50cm) (0m地点)

3. 打ち込み支柱を、ハンマーを使って打ち込みます。(図2)
あらかじめ金テコ等で仮穴を開けておくと、施工しやすいです。
4. 打ち込んだ打ち込み支柱へ、ワッシャー+被せ支柱をセットします。(図3)
セットの際、ワッシャーを被せ支柱先端のフシまで通してください。



(図2)

バタサク同士の連結の際、多少の調整が必要になる為10m地点などの連結部の柱は8m地点のバタサクの施工が終了するまでは打ち込まないでください。



(図3)

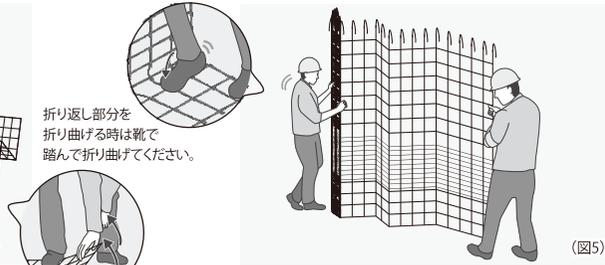
5. 獣側でパタサクを広げ、地際の折り返し部分を折り曲げます。(図4)(図5)
 製網の都合により、端部に絡んでいる箇所があるため、2人以上で展開してください。
 (※展開の際は、パタサクの端部分の絡んだ箇所を外しつつ展開してください。)

広い場所の場合



パタサクを寝かせて少しずつ展開してください。

狭い場所の場合

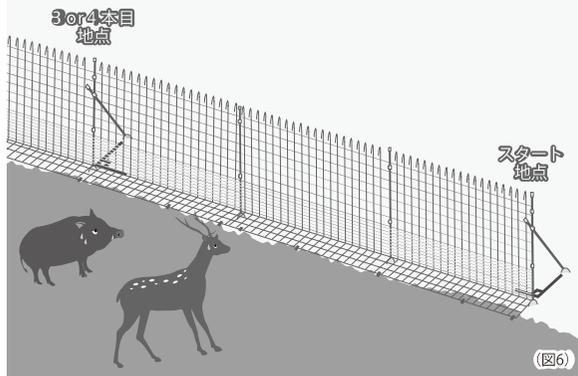


折り返し部分を
折り曲げる時は靴で
踏んで折り曲げてください。

パタサクを立てたまま屏風が開くイメージで少しずつ
展開してください。

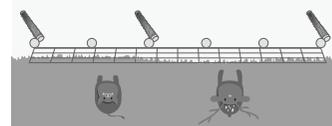
6. 支柱に控え支柱を取り付けます。
 スタート位置と、4m又は6m地点へ取り付けてください。
 スペースのある場合は柱に対になるよう、直角に打ち込んでください。(図6)

(パタサクを設置した時の完成予想図)

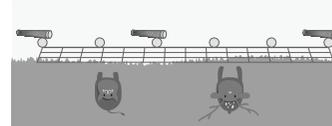


【上から見た図】

狭い場所の場合 斜めに打ち込んでください。

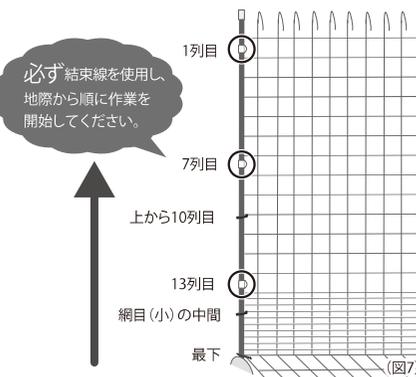


更に狭い場所の場合 横に打ち込んでください。



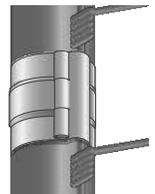
柱に直角に打ち込んだものが耐久力の一番ある角度
になります。角度が小さくなるにつれ、耐久力は弱まる
ので注意してください。

7. スタート位置の支柱へパタサクを固定します。(図7)
 結束線、ワンタッチクリップの順に使用して、固定をしてください。固定箇所は図7を参考にしてください。



ワンタッチクリップ

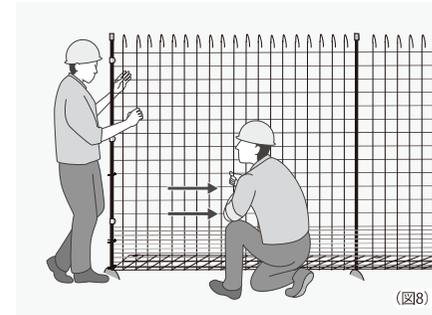
パネル本体の縦線を通す膨らみがあります。
 パチンと音がしたら取り付け完了です。
 ワンタッチクリップは、パネル本体の上から
 1・7・13列目の網目に取り付けてください。



網目の中間をねらって固定をしてください。
 上下どちらかに寄りすぎると
 うまくはまらない場合があります。

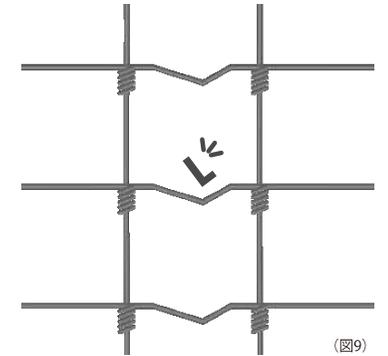
高さ 120cm 規格の場合は、1 列目と 7 列目の 2 ヶ所に設置してください。

8. 2本目へパタサクを固定します。
 必ず結束線を使用し、地際から作業を開始してください。
 地際固定の際、固定していない方向へ
 しっかり引っ張ってから固定してください。(図8)
 スタート位置から5本目まで繰り返します。



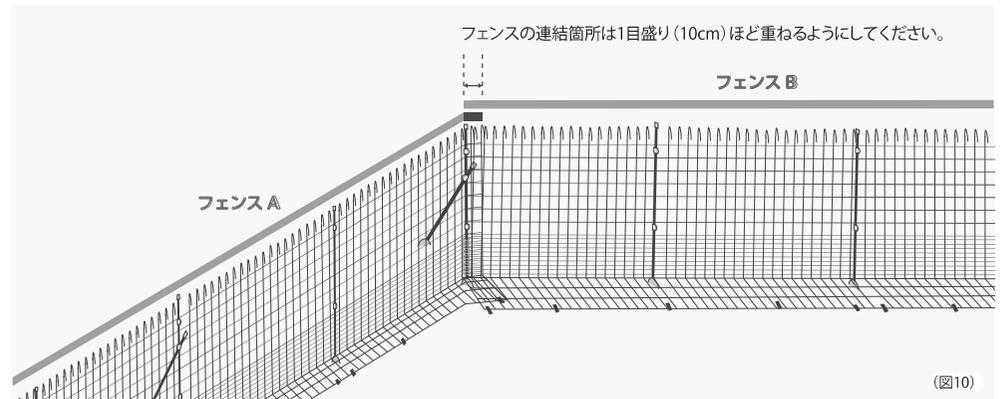
(図8)

9. たるんだ部分の調整。
 パタサク展開設置後、たるんでいる部分については
 ペンチなどでL字に曲げて調節することをお勧めします。



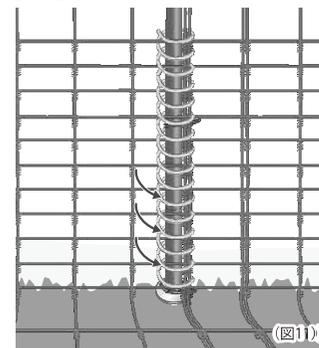
(図9)

10. 柱間隔2mの場合、8m(5本目)まで固定が完了後、残り部分を伸ばし、次のパタサクの
 スタート地点を決めてください。(図10)
 6本目(次のパタサクのスタート位置)を位置決めする前に打ち込むと、長さが足りなくなる場合があります。



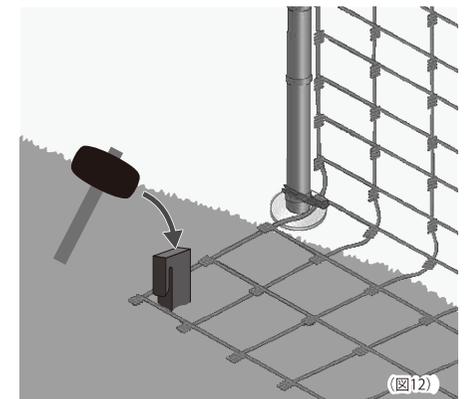
(図10)

11. パタサクの接続は、連結コイル(小)を使用し、支柱の
 上部から通します。(図11)
 パタサク下部の網目が細かい(5cm目盛り)部分の
 網目を必ず通してください。



(図11)

12. パタサクの折り返し部分にハンマー等でアンカーピンを
 打ち込みます。(図12)



(図12)